

朋有小学校・西巣鴨中学校校舎一体型
小中連携校および総合体育場の
整備等に関する提言書(案)
説明会

令和8年2月10日(火)

朋有小学校・西巣鴨中学校校舎一体型
小中連携校および総合体育場の
整備等を考える会

※本資料においては、当団体を「考える会」と表記します。

本日の説明内容

01

整備計画について
…P2

02

「考える会」の
活動…P7

03

「提言書(案)」
の内容…P24

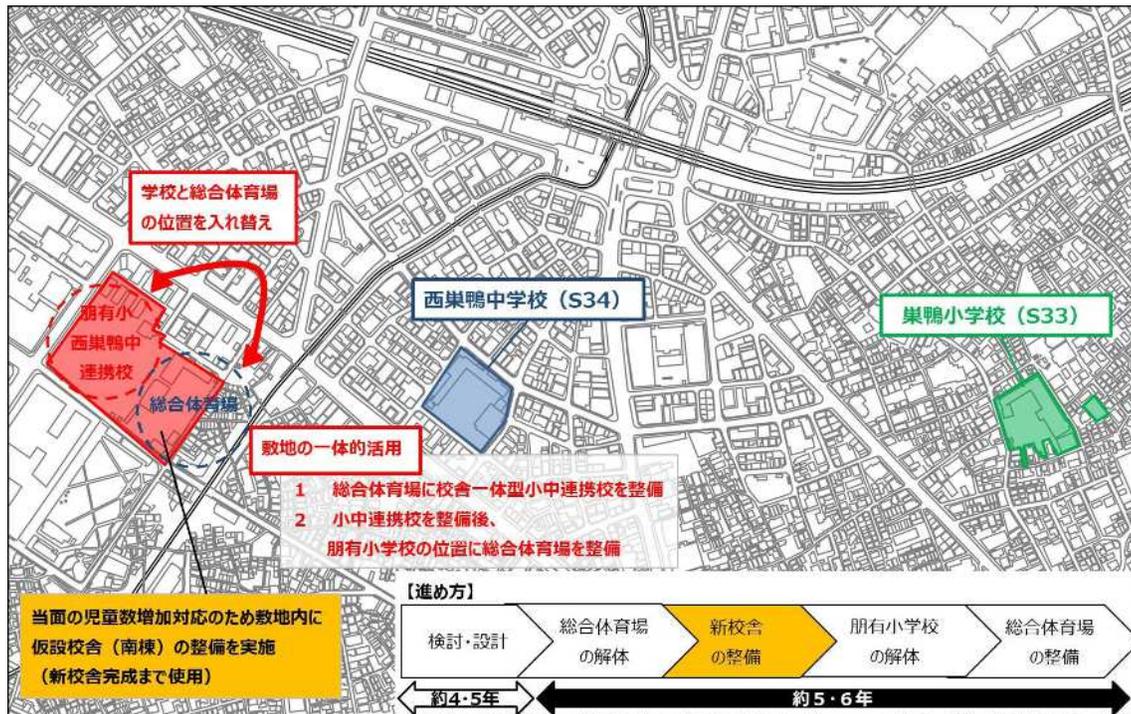
04

今後の
スケジュール…P35

1. 整備計画について

<整備計画>

現在の総合体育場と朋有小学校の敷地を一体的に活用し、
朋有小学校・西巣鴨中学校校舎一体型小中連携校と
総合体育場を整備



児童数増加への対応

近隣の再開発事業を踏まえた児童数のさらなる増加への対応

小中連携教育の推進

区内2か所目の校舎一体型小中連携校の整備により、同一中学校ブロックの巣鴨小学校も含めた小中連携教育の更なる推進

東部地域の学校改築の推進

総合体育場の敷地を一体的に活用することで、仮校舎を必要とせず、学校改築が可能（引っ越しが1回で済むことにより、学校や子どもたちの負担を軽減）
また、本施設整備後、西巣鴨中学校の跡地を近隣小学校を改築する際の仮校舎地として活用可能

総合体育場の再整備

スポーツ協会や利用者の意見を踏まえ、総合的に再整備

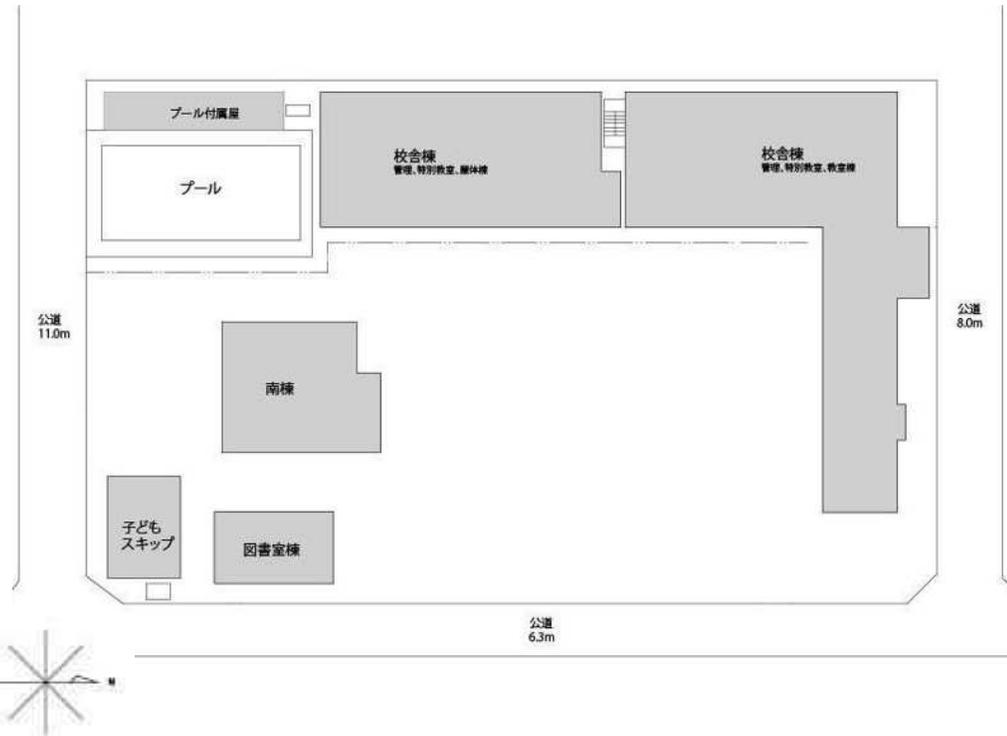
<整備の流れ>

	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	
朋有小・ 西巣鴨中 小中連携校	考える会	基本設計・実施設計				整備工事					開設 (※)		
総合体育場	考える会					解体	総合体育場 休止期間				校舎解体	整備工事	開設

基本構想・基本計画策定

※総合体育場の野球場以外の施設は、朋有小学校・西巣鴨中学校小中連携校と同時期に開設予定

< 朋有小学校の概要 >



■ 所在地

豊島区東池袋4-40-1

■ 校地面積

7,424.77㎡(運動場 2,504.80㎡)

■ 延床面積

校舎棟	5,192.11㎡
南棟	626.10㎡
図書室棟	270.00㎡
子どもスキップ	437.52㎡
合計	6,525.73㎡

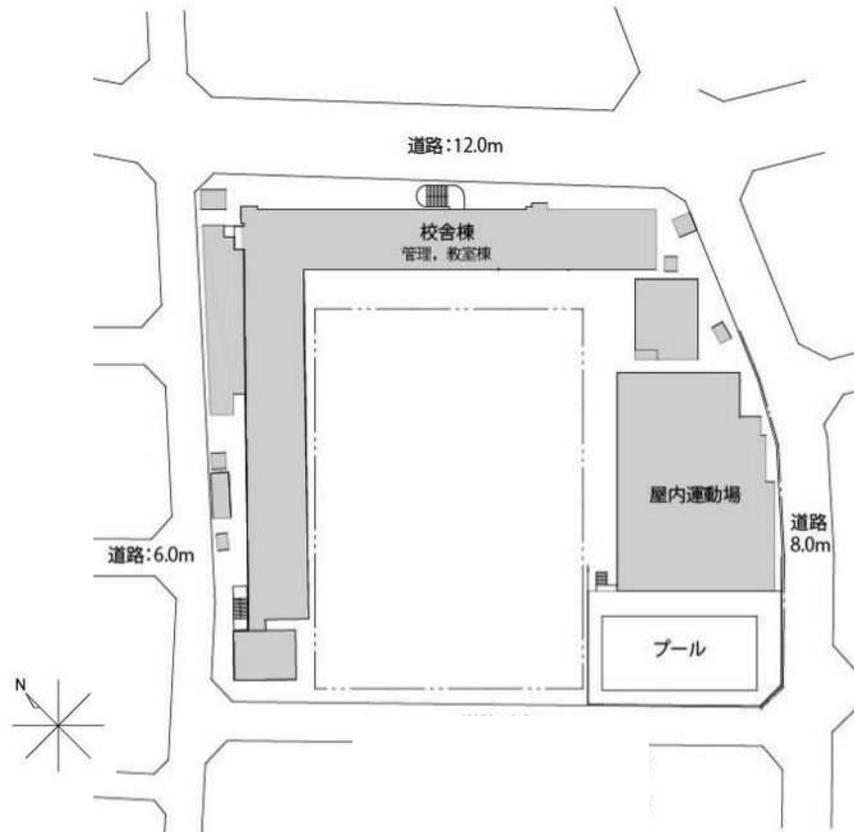
■ 構造

校舎棟	RC造地上4階
南棟	S造地上2階
図書室棟	S造地上2階
子どもスキップ	S造地上2階

■ 建設年度

校舎棟	昭和40年度
南棟	令和 7年度
図書室棟	平成23年度
子どもスキップ	平成18年度

<西巣鴨中学校の概要>



■ 校地面積

7,565.60㎡(運動場 2,511㎡)

■ 延床面積

校舎棟 5,518.88㎡

屋内運動場 1,138.54㎡

合計 6,657.42㎡

■ 構造

校舎棟 RC造地上4階

屋内運動場 S造地上2階

■ 建設年度

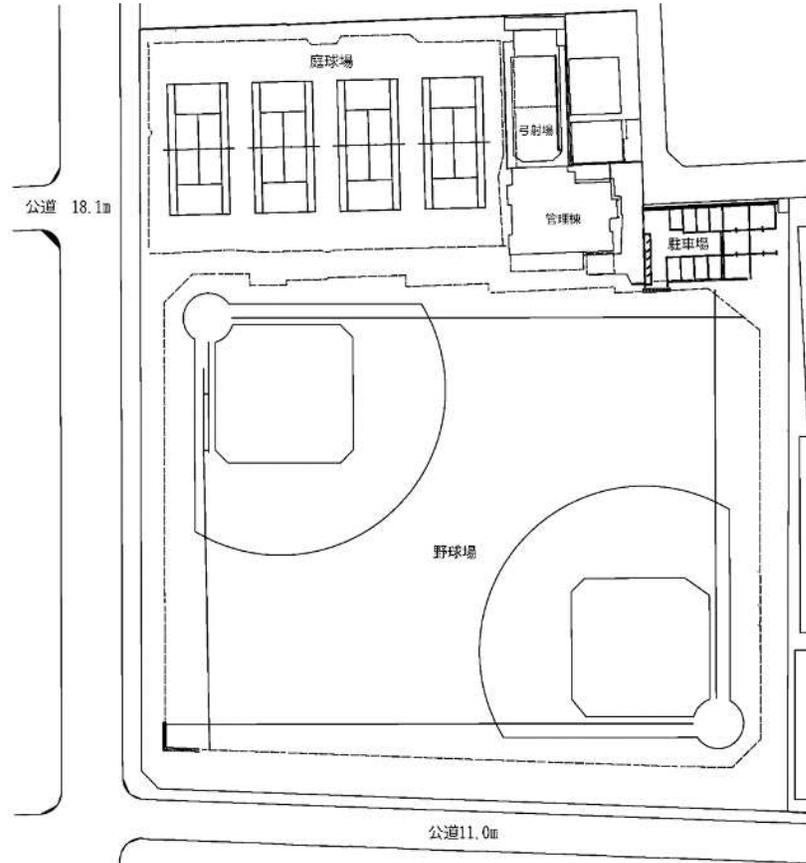
校舎棟 昭和34年度

屋内運動場 昭和37年度

■ 所在地

豊島区南大塚3-18-1

<総合体育場の概要>



■所在地

豊島区東池袋4-41-30

■敷地面積

15,411.29㎡

〔 野球場面積10,726㎡ (2面)
庭球場面積2,900㎡ (4面) 〕

■延床面積

管理棟 601.39㎡

〔 弓射場5的/30m 379㎡
体育室 卓球台7台 222㎡ 〕

※参考

西巣鴨体育場 アーチエリー場
5的/50m 488㎡

■構造

管理棟

RC造地上2階

■建設年度

管理棟

昭和42年度

2. 「考える会」の活動

<考える会とは>

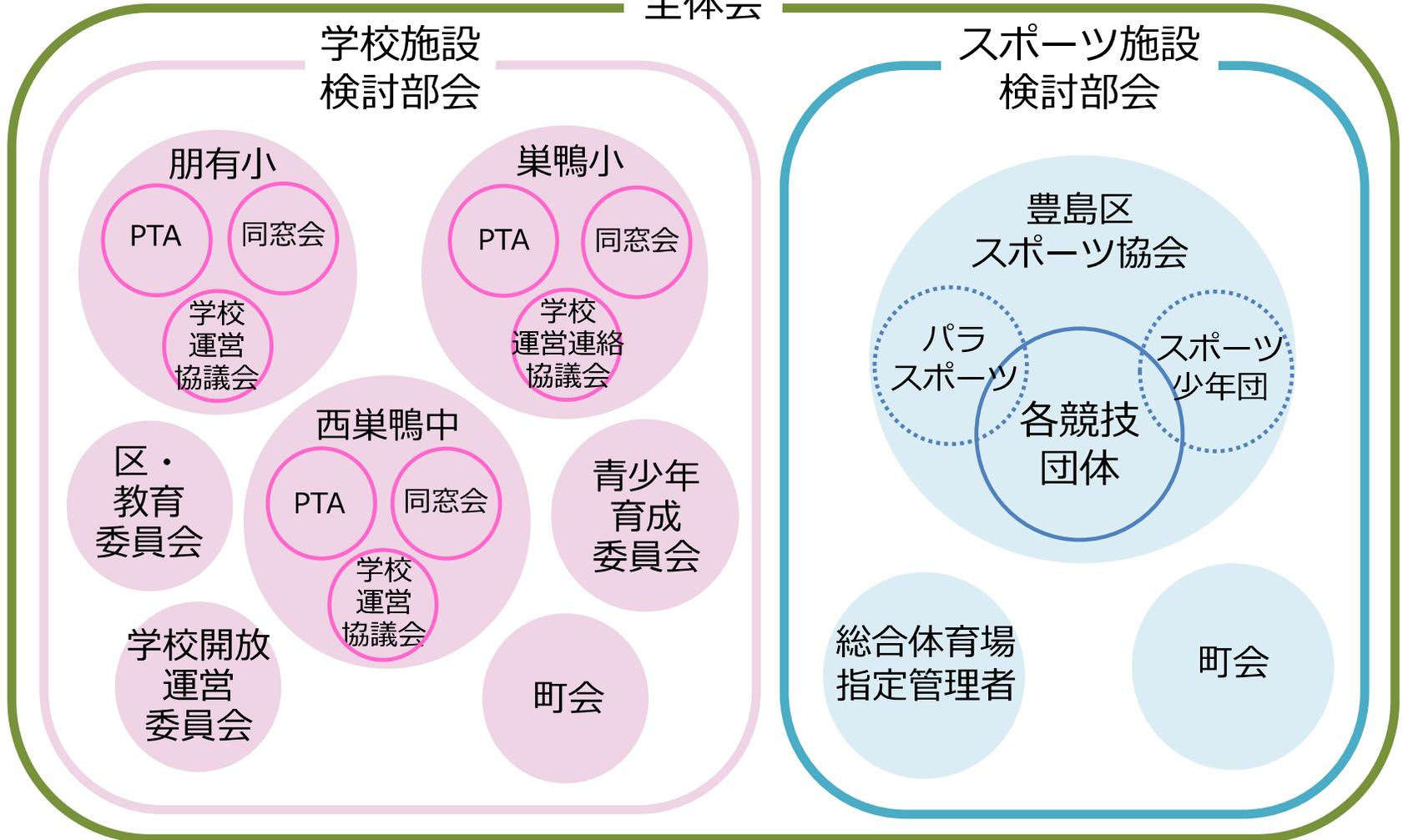
施設整備の基本構想・基本計画策定にあたり、学校の保護者やスポーツ施設利用者、地域住民等と協働して施設づくりを行うために、PTAや地域の町会および豊島区スポーツ協会等の代表者で構成する会議体

- 学校施設に関すること：学校施設検討部会で検討
- 総合体育場に関すること：スポーツ施設検討部会で検討
- 施設全体に関すること：全体会（※）で検討

※全体会は、学校施設検討部会とスポーツ施設検討部会で構成

<考える会の構成メンバー>

全体会



<考える会の目的>

全体会

- 学校施設検討部会とスポーツ施設検討部会が掲げる目的を達成するため、施設全体の基本構想をまとめること

学校施設検討部会

- 教育内容・方法の多様化や社会情勢の変化等に対応した学校施設づくり
- 生涯学習や地域活動等のまちづくりの拠点としての学校施設づくり

スポーツ施設検討部会

- 気軽にスポーツを楽しみ、子どもから大人まで健康づくりに取り組めるスポーツ施設づくり
- 日常的なスポーツ活動の促進と健康増進への寄与を高めるスポーツ施設づくり
- 地域に開かれたスポーツ施設づくり

<考える会の活動>

全体会①（全3回）

- ・各部会の想いの共有
- ・各施設の現状把握
- ・先進事例勉強会

学校施設検討部会（全4回）

- ・小中連携への想いの共有
- ・新しい施設に必要な機能、場所

スポーツ施設検討部会（全2回）

- ・事例勉強会
- ・ありたい姿と課題点

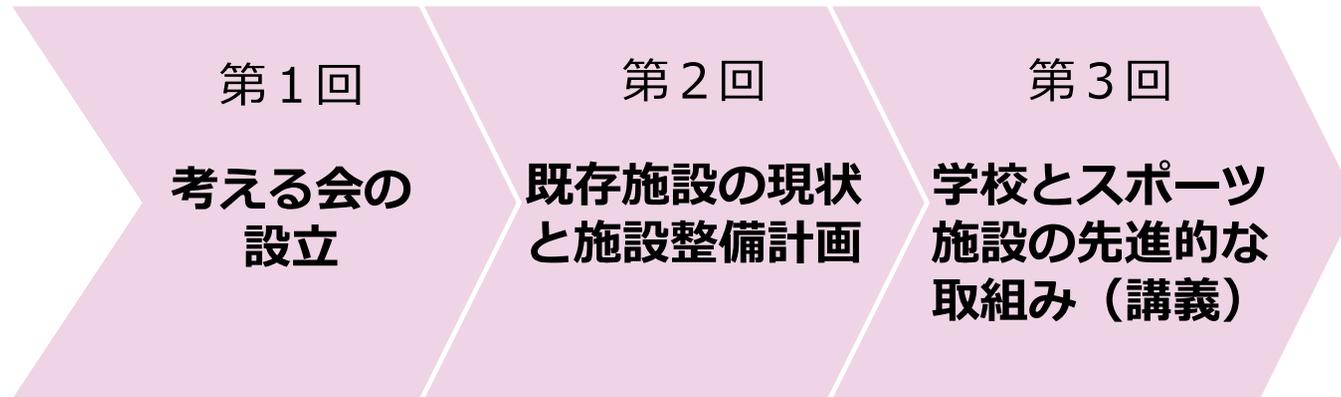
全体会②（全4回）

- ・コンセプト/基本方針/整備方針の検討
- ・配置案の検討

その他 取組み

- ・イベント出展（ファーマーズマーケット/としまスポーツまつり）
- ・施設見学会
- ・子どもワークショップ
- ・アンケート調査

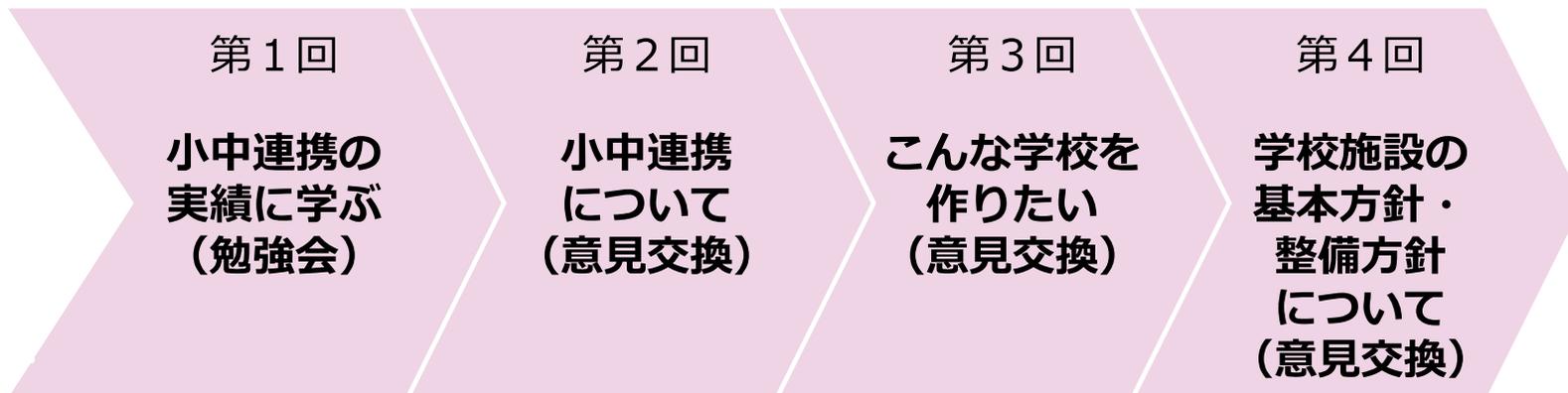
<全体会①の活動>



(新しい学校・スポーツ施設の重要な観点)

- 学校全体・地域全体が学びの場であり、多目的な活動ができる施設づくり
- 小中9年間にわたる成長に応じた教室環境づくり
- 地域開放およびスポーツ施設、学校施設それぞれのセキュリティの両立

<学校施設検討部会の活動>



(施設づくりにおいて特に重要視したい観点)

- 朋有小学校・巣鴨小学校・西巣鴨中学校の三校連携を促進するような設備・機能や取組み
 - 児童・生徒の運動環境の充実
 - 地域の防災機能の充実
 - 地域に根付いた文化の継承
- など



(学校施設検討部会でのその他意見)

巣鴨小学校に関する意見

朋有小学校と西巣鴨中学校が校舎一体型小中連携校になる一方で、同一中学校ブロックの巣鴨小学校に対して、学習環境面でなるべく差がなくなるようにし、三校連携をさらに強化していく必要がある。

- I C T環境の充実を図り、オンラインでの連携もしやすい環境を整備する
- 特色ある教育環境の提供に繋がる場所等を整備する
- 巣鴨小学校の子どもたちが、小中連携校となる西巣鴨中学校に通いやすくするための環境を整備する

<スポーツ施設検討部会の活動>

第1回

- ・二年間にわたる検討内容の振り返り
- ・スポーツ・学校連携事例の紹介
(勉強会)

第2回

- ・ありたい姿と課題
- ・総合体育場の基本方針整備方針について
(意見交換)

(施設づくりにおいて特に重要視したい観点)

- 十分な競技スペースや駐車スペースを確保
 - 多様性に対応したインクルーシブな施設
 - イケ・サンパークとの連携
 - 学校授業等での連携
- など



<全体会②の活動>



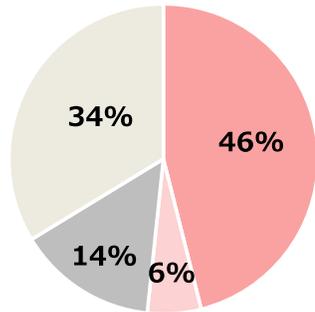
(本施設整備における重要なキーワード)

- つながり・交流
年齢・性別・国籍・障害の有無に関わらず、多様な主体が集う場所
- 施設の共用
学校とスポーツ施設がお互いの活動を尊重し、可能な範囲で施設を共用することで、可能性を広げる
- 安全・安心
セキュリティの確保、防災機能の充実

<ファーマーズマーケットでのヒアリング調査>

- テーマ 「新施設を作る上で大切にしたいこと」
- 回答者数 約100名
- 調査内容 「新施設を作る上で大切にしたいこと」をシール投票し、理由をヒアリング

学校に求める機能



- 安全性
- 文化継承
- 小中連携
- 最新の教育

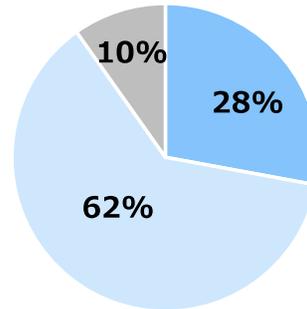
★安全性の確保

- ・安全と地域開放の両立
- ・安心して遊びに行かせたい

★最新の教育

- ・グローバル、英会話、ICT教育プログラム
- ・SDGsや自然体験、教育の質向上、プログラミング

スポーツ施設に求める機能

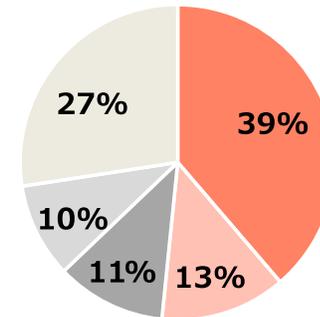


- 生涯スポーツ
- 総合的なスポーツ
- 競技場としての活用

★総合的なスポーツ

- ・習い事的に通えると良い
- ・プールを区民へ開放
- ・様々なイベントの開催

地域に求める機能



- 防災
- 街にひらかれている
- 地域の中心
- イケ・サンパークとの接続
- この地域で生活したくなる

★防災

- ・使い慣れた施設が防災拠点
- ・利用しやすい、防災利用可能

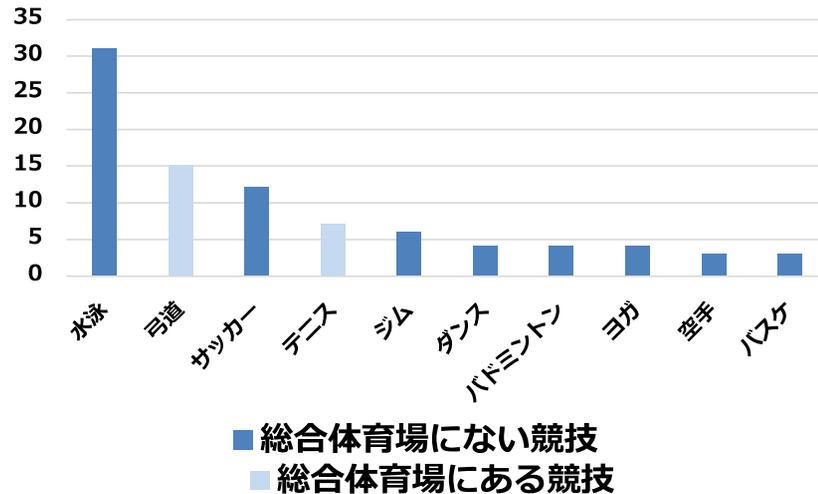
★この地域で生活したくなる

- ・お年寄りと若者のつながり
- ・外国人と日本人がよい関係

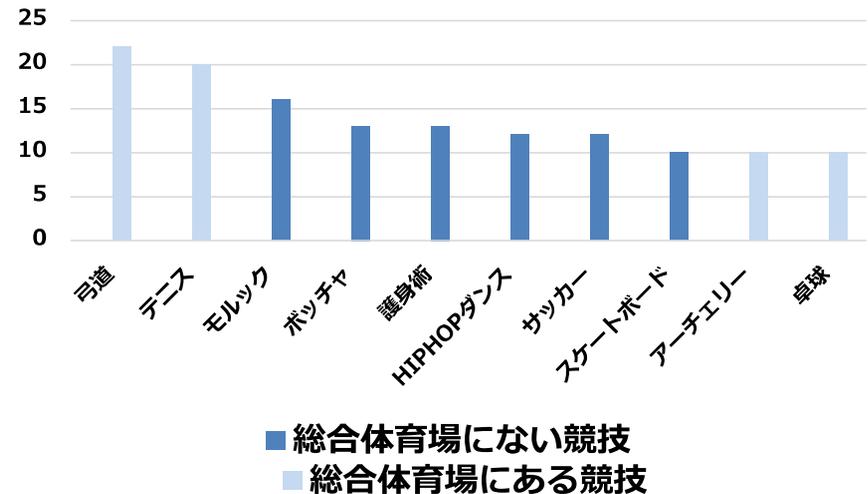
<としまスポーツまつりでのヒアリング調査>

- テーマ 「新しい総合体育場について考える」
- 総回答数 115回答
- 調査内容 来場者に「現在取り組んでいるスポーツ」「今後取り組みたいスポーツ」についてヒアリング

取り組んでいるスポーツ（全世代）



取り組みたいスポーツ(全世代)



- ・取り組んでいるスポーツとして、世代を問わず「水泳」が人気であった
- ・総合体育場に整備予定の競技施設以外で、今後取り組みたいスポーツとして「モルック」「ボッチャ」などのニュースポーツへの関心が高まっている

<小中連携事例見学会>

区内で既に校舎一体型小中連携校として整備した池袋本町小学校・池袋中学校を見学し、小学生と中学生の共用・交流スペースや、多目的な活動の場などの運用イメージを膨らませました

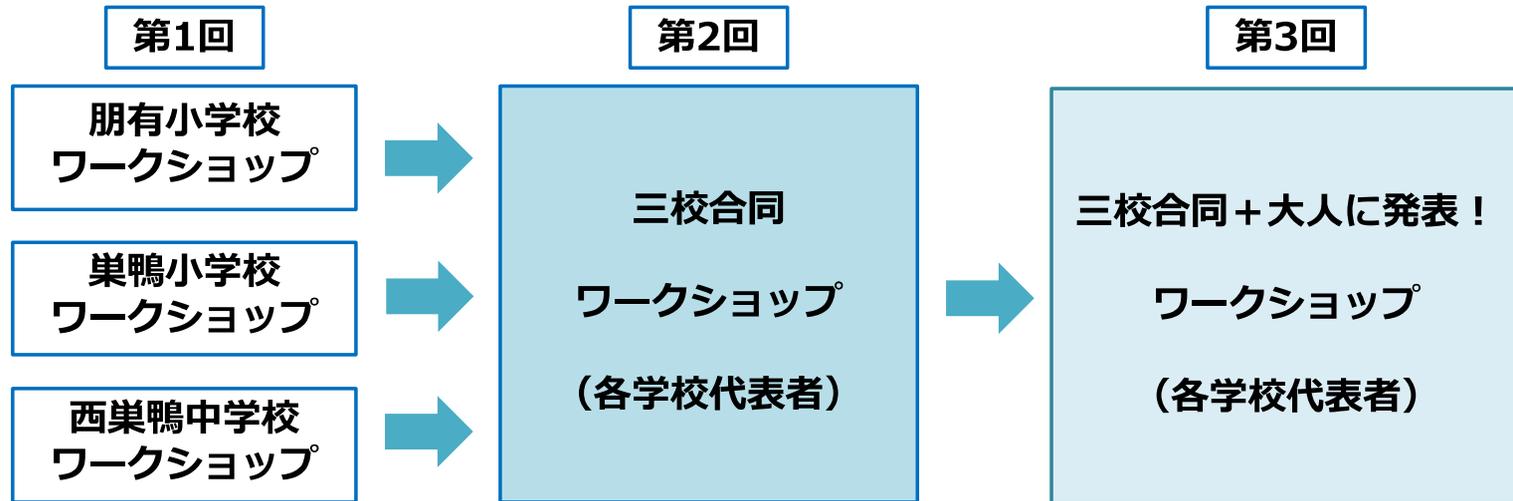
(施設整備にあたって参考にした点)

- 小中の体育館の運用（小中個別で整備）
 - 小学校教室内のクールダウンスペース
 - 中学校廊下の談話スペース
 - 学校図書館の配置
- など



<子どもワークショップ>

○活動内容



○テーマ

毎日いきたくなる学校（各回共通）

<子どもワークショップ(第1回 各校開催)>

主な意見

○作り手になれる場、様々な目的で使える場

- ・使い方が固定されていない
- ・遊びや活動を自ら生み出す
- ・授業以外の活動も豊かに

○交流の場と、一人で落ち着いたり集中できる場

- ・気分を選べるお気に入りの場所
- ・建物のもつ複数の顔
- ・どんなときでも居場所

○世界が広がる、得意が見つかる、プロの世界をみれる

- ・勉強だけでない色々な学び場
- ・総合体育場との融合
- ・ICTなどのデジタル技術の活用

<子どもワークショップ(第2・3回 三校合同)>

主な意見

○便利が遊びをより楽しくする

- ・ 収納や自動化などの利便性
- ・ 遊びの充実
- ・ 必要な活動の広さと時間の確保
- ・ 室内プール
- ・ 少人数の遊び部屋
- ・ デザイン面での木質化

○多様性を楽しめる学校

- ・ 世界の食や言語、障害の有無など多様性を楽しめる
- ・ 色々な国の食事が食べられるランチルーム
- ・ 木の香りなどがするリラックスできる部屋

○運動と勉強が両立できる学校

- ・ 屋外と室内それぞれで年中充実した学び
- ・ 図書館や武道場の配置
- ・ 室内プールやボルダリングの設置

<アンケート調査の実施>

- 調査期間 令和7年7月中旬～9月30日
- 調査対象 朋有小学校・巣鴨小学校・西巣鴨中学校に通う児童・生徒の保護者、教職員、区民の方
- 調査内容 新施設に期待すること、大事にしたい視点をWEB/紙面アンケートにて調査
※対象ごとに設問は若干異なります。

保護者アンケートより みえてきた期待の傾向

- ・どんな時でも子どもの居場所として安心感を確保できる環境
- ・1人利用から多世代交流まで、多様な活動に合わせた場の整備

教職員アンケートより みえてきた期待の傾向

- ・学びや運動の質が向上する環境整備
- ・学校内外問わず情報交換や交流が活発に行われるための円滑な動線計画

地域アンケートより みえてきた期待の傾向

- ・災害時の避難所や交流の場としての地域開放
- ・地域開放と防犯を両立
- ・総合体育場の利便性の維持

<考える会ニュース・区ホームページによる活動報告>

第1号[2025年6月]

朋有小・西巢鴨中・総合体育場 整備等を考える会ニュース

編集・発行：朋有小学校・西巢鴨中学校校舎一体型小中連携校
および総合体育場の整備等を考える会

**朋有小学校・西巢鴨中学校
校舎一体型小中連携校
および総合体育場の
整備等を考える会
が設立されました！**

この度、令和6年11月に公表した「新たな
学校改築計画」に基づき、朋有小学校・西巢
鴨中学校校舎一体型小中連携校および総合
体育場の整備が新たに始まります。
「校舎一体型小中連携校」は、豊島区内で
は池袋本町小学校・池袋中学校に続く、2番
目の学校として整備予定です。
整備を進めるにあたり、「朋有小学校・西
巢鴨中学校校舎一体型小中連携校および総
合体育場の整備等を考える会（以下、考える
会）」が設立され、今後、新しい施設のコン
セプト等の検討に着手することをご報告致し
ます。

第1回「考える会」には
高階区長、清野教育長に
ご参加いただきました

第1回 考える会のようす（令和7年5月19日）

代田佑一 会長

皆様こんにちは。この度「朋有小学校・西巢鴨中学校校舎一体型小中連携校
および総合体育場の整備等を考える会」の会長を務めることになりました
代田佑一と申します。朋有小学校PTA会長としてこの大きなプロジェクトに
携わることができ大変嬉しく思います。
10年後の子供たち、街の方たちが使うことをしっかりイメージして取り組
んでいきたいと思っております。
ご意見・ご要望がありましたらぜひお寄せください。
皆さんで未来の豊島区を代表する施設を考えていきましょう！

会長あいさつ

1

【考える会ニュース】

豊島区
TOSHIMA CITY

手続き・届出 | 暮らし・地域 | 健康・医療・福祉 | 子育て・教育 | 文化・スポーツ | まちづくり・環境・産業 | 区政情報

ホーム > 子育て・教育 > 教育施設 > 主な取り組み > 4. 教育力の向上と教育環境の整備 > 学校改築 > 朋有小学校・西巢鴨中学校および総合体育場の一体的整備について（令和7年度～）

印刷する ページID: 51011 更新日: 2025年11月20日

朋有小学校・西巢鴨中学校および総合体育場の一体的整備について（令和7年度～）

現在の総合体育場に朋有小学校・西巢鴨中学校校舎一体型小中連携校を整備し、朋有小学校跡地に総合体育場を整備します。

朋有小学校・西巢鴨中学校校舎一体型小中連携校は令和12年度（2030年度）から工事を、総合体育場（野球場）は令和17年度（2035年度）に工事を予定しています。

朋有小学校・西巢鴨中学校校舎一体型小中連携校の整備

令和7年度（2025年度）から「朋有小学校・西巢鴨中学校校舎一体型小中連携校および総合体育場の整備等を考える会」を設置し、整備に向けた検討を行います。

ニュース

本会の活動内容をお知らせするため、ニュースを発行しています。

[朋有小・西巢鴨中・総合体育場整備等を考える会ニュースNO.1（PDF: 5.386KB）](#)

[朋有小・西巢鴨中・総合体育場整備等を考える会ニュースNO.2（PDF: 1.178KB）](#)

アンケートを実施しました

子どもたちや総合体育場利用者など区民の皆さんが行きたくなくなるような施設を整備するために、アンケートを実施しました。

実施期間：令和7年7月15日から令和7年9月30日まで

皆様からいただいた意見を考える会でフィードバックし、施設づくりの参考にさせていただきます。

【区ホームページ】

3. 「提言書（案）」の内容

<提言書の主な構成>

コンセプト

提言書の中で1番大切にしたいこと（地域の想い）を言葉に表したもの

考える会の各部会やアンケート等で集約した地域および児童・生徒・教職員・スポーツ施設利用者などの想いを言葉にします

基本方針

「こんな学校にしたい」「こんなスポーツ施設にしたい」という基本的な考え方

コンセプトをより具体的に表現するために、生徒や地域などの目線、求める機能など「こんな施設にしたい」という想いをまとめます

整備方針

「こんな風につくりたい」という場所ごとの具体的な提案

コンセプトや基本方針を踏まえて、場所ごとの作り方をまとめます

施設配置

学校とスポーツ施設の配置に関する考え方の提案

整備地の条件・特性などから敷地を有効活用できる案を提案します

<コンセプト>

未来をひらく、みんなの拠点

- ・ 朋有小、巣鴨小、西巣鴨中の三校の歴史をつなぎ、地域の文化や伝統を継承する
- ・ 学校と地域とスポーツ関係者が一体となって新しい未来をひらく

9年の学びからその先へ

- ・ 小中連携9年間の学びと様々な活動を通じて、人生の確かな土台を築く
- ・ 子どもたちの成長を見守りながら、大人たちも共に成長し続ける、生涯にわたる学びと交流を大切にする

未来をひらく、みんなの拠点

9年間の学びからその先へ

スポーツを通じて健全な心と体を育む

誰もが輝ける新たな舞台

スポーツを通じて健全な心と体を育む

- ・ 誰もが気軽に好きなスポーツと出会い、仲間と楽しく競い合うことで、心と体の健康を育む
- ・ 本格的な競技環境に触れることで、スポーツに興味関心を持つきっかけに

誰もが輝ける新たな舞台

- ・ 誰もが新しいことに挑戦できる主役になれる舞台（場所）
- ・ この舞台から、より広い社会へ、より広い世界へ羽ばたき、未来を切り拓く

<基本方針>

○複合施設

学校とスポーツの交流を大切にする新しい地域複合施設

- ・ 運動会やスポーツイベント等で、学校施設とスポーツ施設の相互利用、共用、連携が図れる施設
- ・ 学校施設とスポーツ施設各々の機能を十分に確保しつつ、交流・連携を促進できる施設
- ・ 様々な場面で専門家やプロによる指導が得られ、スポーツへの興味や理解が高まる施設
- ・ 学校の教育環境を守るセキュリティラインの設定と、地域・スポーツ利用時の利便性を両立した施設

みんながつながる、誰もが主役の複合施設

- ・年齢・性別・国籍・障害の有無に関わらず、誰もが利用しやすい施設
- ・子どもからお年寄りまでの多世代が集い、多国籍な文化を大切にし、多様性を楽しめる施設
- ・地域のお祭り・イベント・スポーツなど様々な活動を通してみんながつながる、まちに開かれた施設

地域防災拠点としての複合施設

- ・救援センターとしての学校機能や総合体育場の広い敷地を一体的に活用し、災害・防災に強い地域の拠点としての施設
- ・としまみどりの防災公園（イケ・サンパーク）と日常時・災害時ともに連携を高め、誰もが安全安心に過ごせる施設

○学校施設

三校の連携を大切にし、子どもたちの主体的な学びを育む学校

- ・ 対面やオンラインでの交流機会を積極的に創出し、三校連携を促進する学校
- ・ クラスや学年、学校を超えた子どもたちの交流を促進し、豊かな心を育む学校
- ・ これまで育まれてきた三校連携の特色ある活動を継承し、発展していく学校
- ・ 教職員（三校・特別支援）の連携を促進する学校
- ・ 日々進化する学習内容や学習形態・ICT環境に対応できる多様な教育環境を整備し、子どもたちの成長に繋げることができる学校
- ・ 小学校・中学校ともに充実した活動の場所を確保し、子どもたちがのびのびと成長できる学校

多様性を大切にする学校

- ・多様性に配慮し、子どもたちや教職員が快適に過ごせる学校
- ・ひとりひとりの才能やポテンシャルが開花するような、興味・関心に合わせて様々な体験ができる学校

地域と一体になって子どもたちを育む学校

- ・地域と学校が一体となり様々な活動を行い、地域の文化や伝統を継承・発展していく拠点としての学校
- ・地域と学校が一体となって、子どもたちの日々の学校生活を見守り、地域の子としてみんなで育む拠点としての学校

○総合体育場

各競技の設備が充実した最先端の施設

- ・十分なスペースを確保し、いつでも思い切りからだを動かせる施設
- ・総合的で多様なニーズに対応する施設

年齢や立場の垣根がなく誰でも使いやすい施設

- ・障害のある方が継続して活動できる施設
- ・アクセスのしやすさ、バリアフリー化に配慮し、全世代が利用しやすい施設
- ・多言語に対応し、時代に合ったシステムを導入することで、だれでも使いやすい施設

地域を活性化させるような多世代の交流が生まれる施設

- ・としまみどりの防災公園（イケ・サンパーク）とのつながりを感じられる施設
- ・地域のよりどころとなる、豊島区のスポーツランドマークとなるような施設
- ・交流スペースを充実させ、スポーツが地域交流の軸となるような施設

<整備方針>

凡例

: 施設全体に関する項目

: 学校施設に関する項目

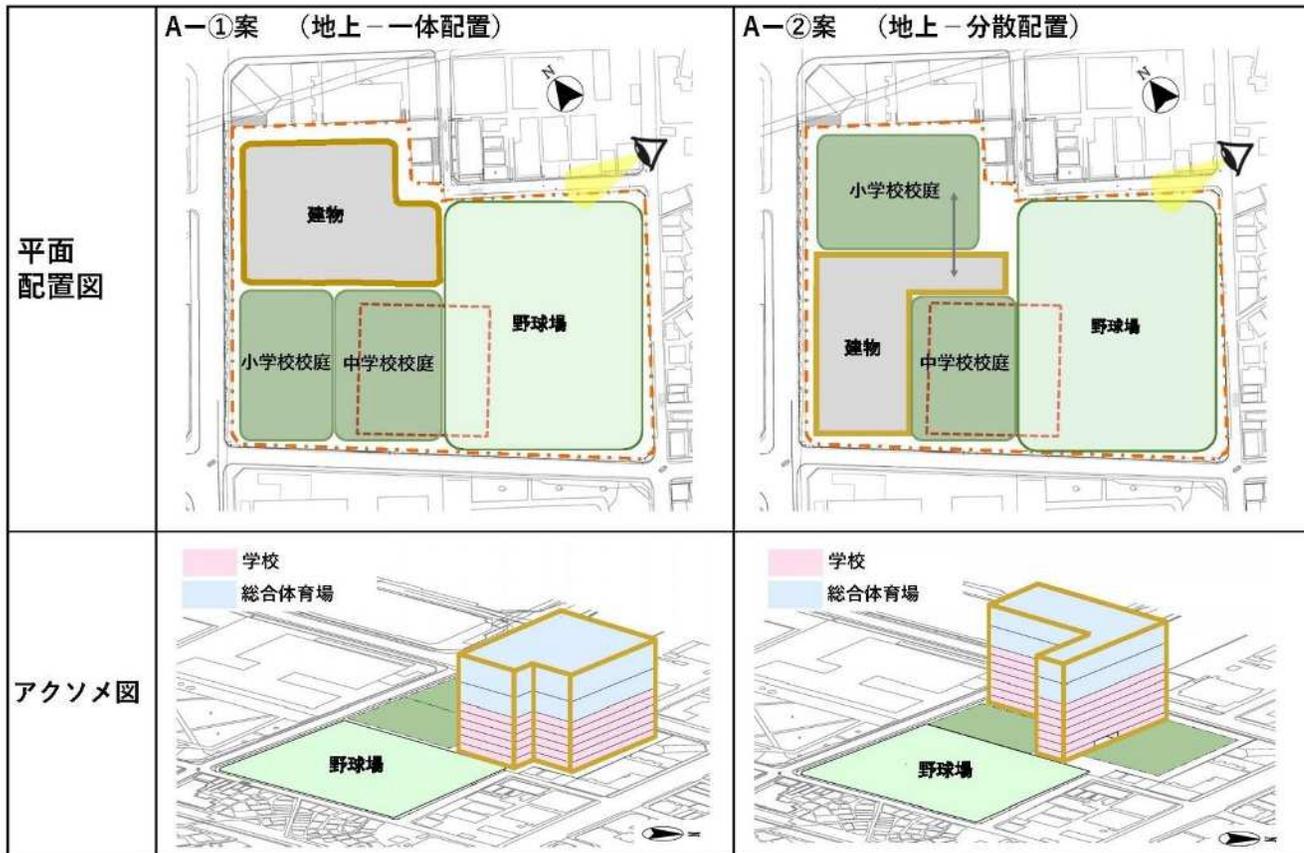
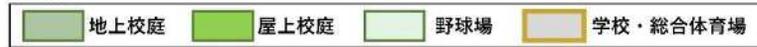
: 総合体育場に関する項目

設え	学校図書館 多目的室	校庭、その他	エントランス
環境への配慮	管理諸室	設え・機能	管理諸室
土地の有効活用	トイレ	庭球場	更衣室 シャワー室
設え・機能	廊下・階段	体育室 (卓球場)	トイレ
普通教室	体育館	弓射場 (アーチェリー場)	授乳室
特別支援教室	武道場	弓射場 (弓道場)	会議室
特別教室	プール	野球場	駐車場 駐輪場

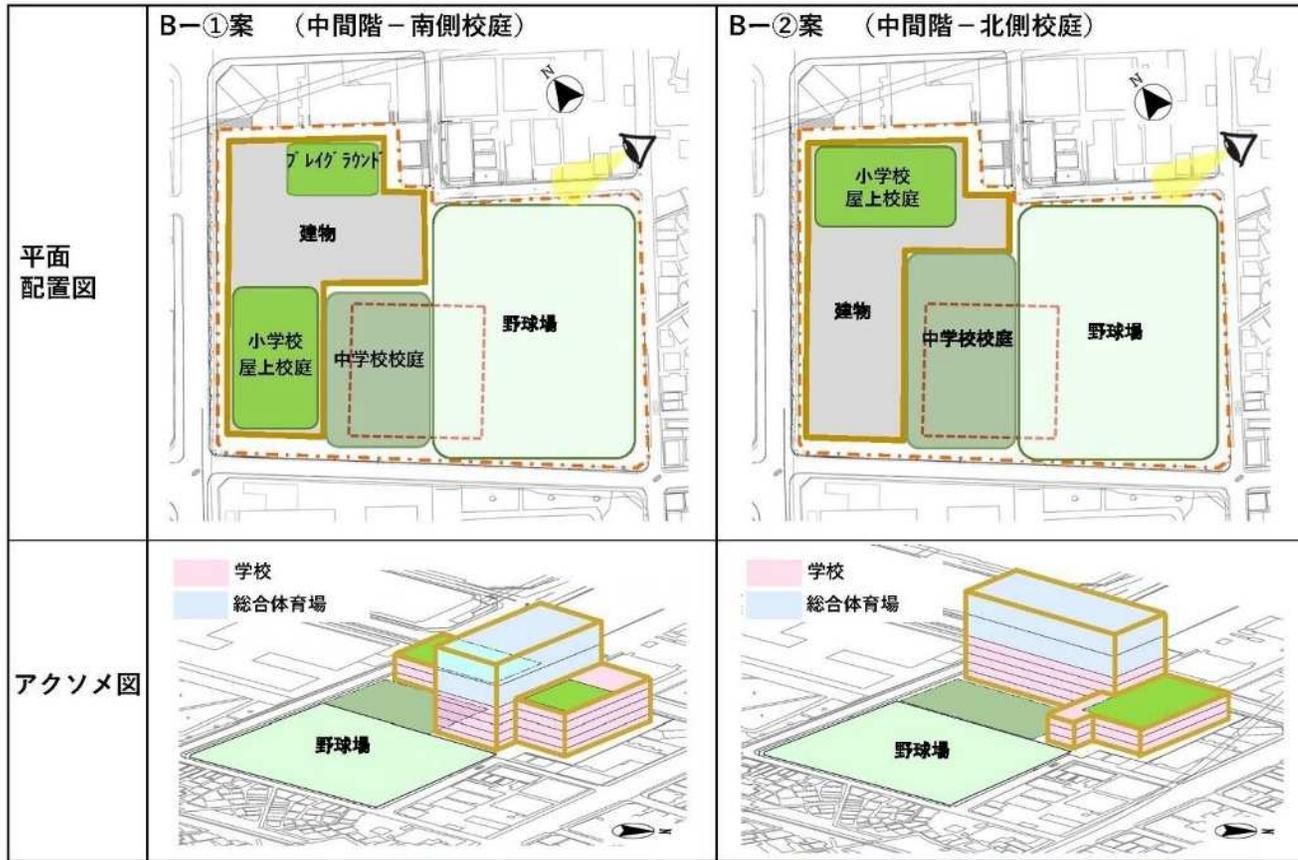
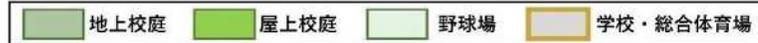
※詳細については、別紙のとおり

<施設配置>

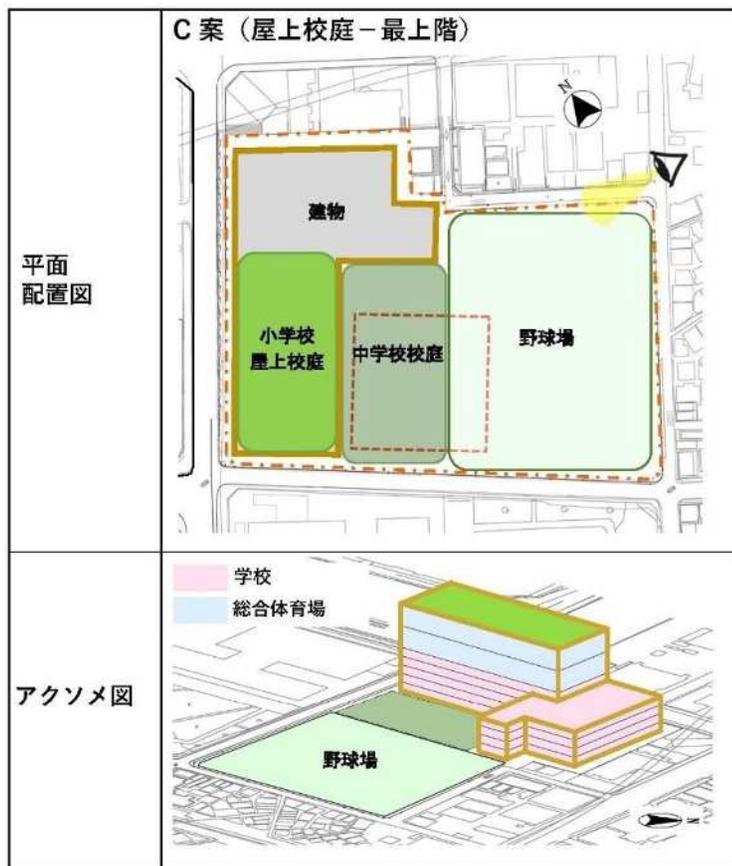
凡例



凡例

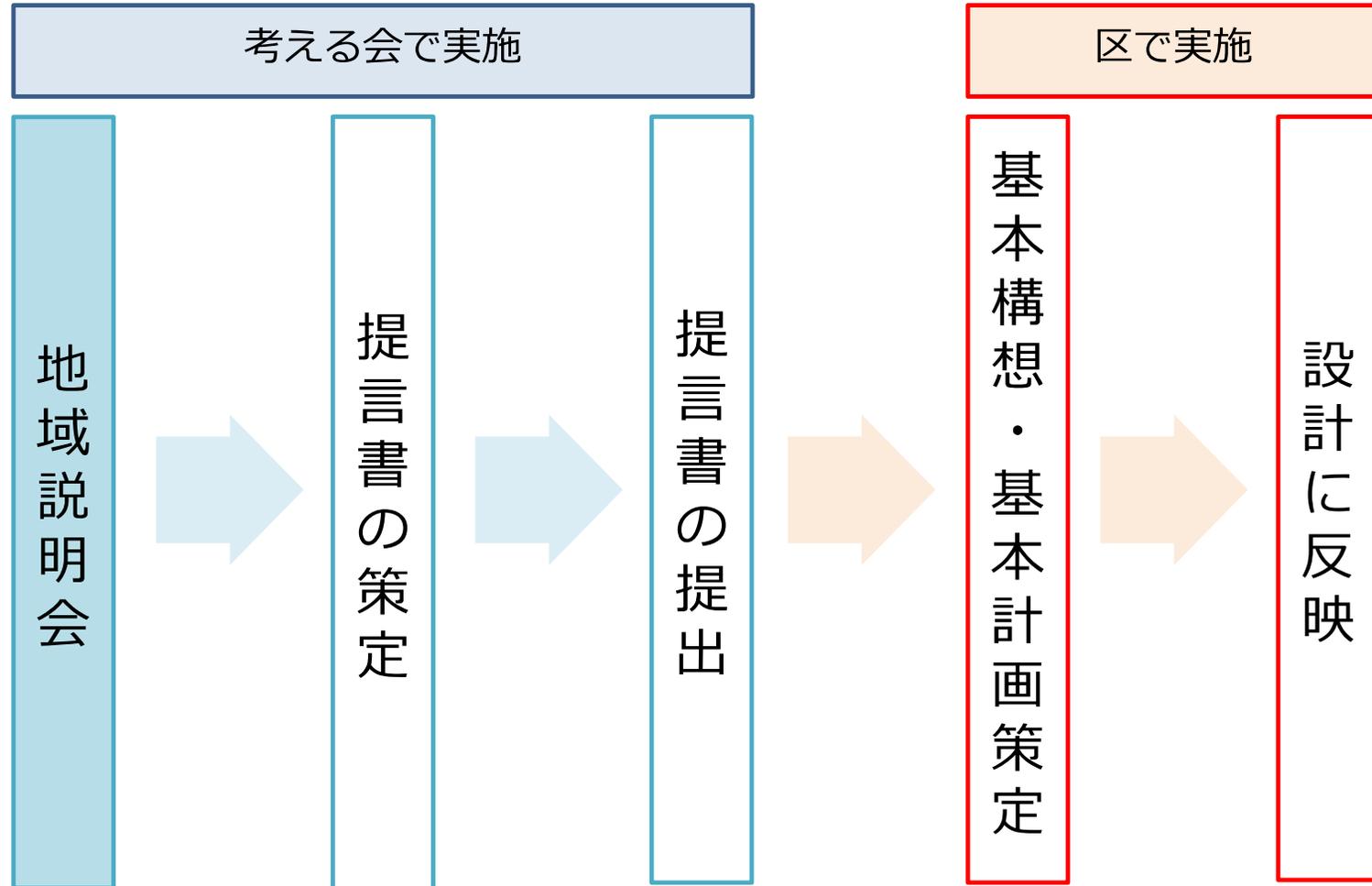


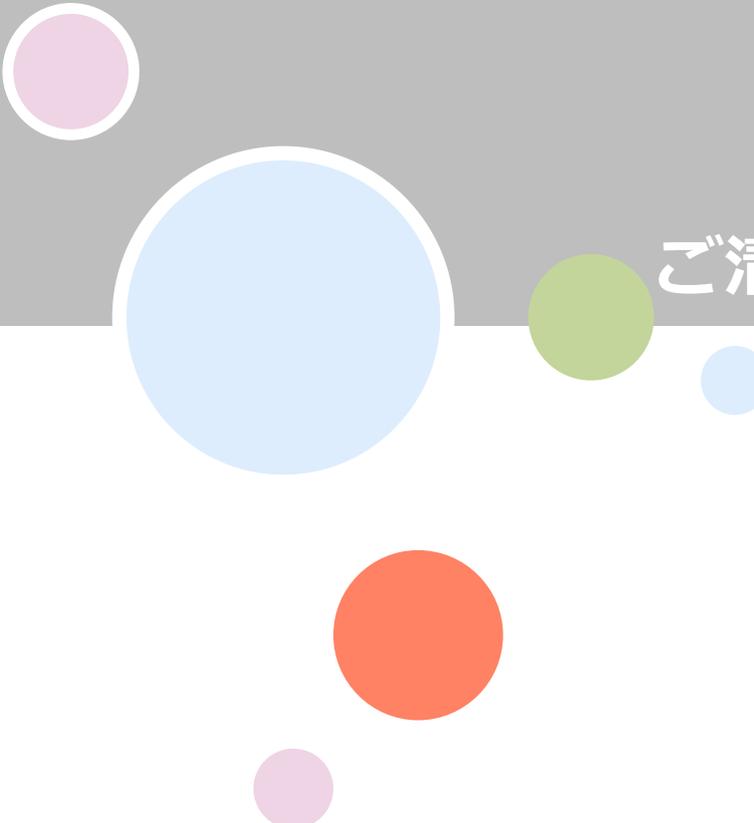
凡例



※いずれも考える会で検討した案であり、最終的な施設配置については、今後設計を行う中で決定します

4. 今後のスケジュール





ご清聴ありがとうございました。

●整備方針

別紙

【複合施設】

全体	設え (しつらえ)	<ul style="list-style-type: none"> ・多様性に配慮した、インクルーシブな施設（ユニバーサルデザイン） ・セキュリティラインを明確に設定し、学校活動と地域・スポーツ利用の動線を適切に分離・管理できるシステムを構築する ・防災機能を充実させ、特に小中学校に関しては、災害時の救援センターとなるため、その点を考慮した整備を行う (広い空間の確保、防災備蓄倉庫の充実と分散配置、かまどベンチ、防災井戸、災害用トイレなど) ・防犯カメラの設置など防犯対策に配慮する ・設備機器は管理運営がしやすいように整備する
	環境への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・敷地内の緑化の推進を図るなど、緑が多く自然を感じられる施設とする ・子どもたちの環境教育の場として利用できるよう、太陽光発電や雨水利用などの設備を導入する ・自然通風など自然エネルギーを積極的に取り入れ省エネルギー化を図る ・建物の断熱化や陽射しを遮る工夫を施す
	土地の有効活用ほか	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺環境や地域の景観、地域動線に配慮した施設配置とする ・としまみどりの防災公園（イケ・サンパーク）との連携を意識した施設配置とする

【学校部分】

学校 全体	設え (しつらえ)	<ul style="list-style-type: none"> ・三校連携の活動を促進する各校のシンボルや新たな地域の象徴となるものを表現する ・地域の伝統の継承につながるような設えとする ・小学生と中学生がお互いの活動が見える設えとする ・木材や自然素材、豊かな採光など、子どもの五感が刺激される環境をつくる ・見通しがよく、開放的で明るい校舎とする ・将来的な児童数の増減に対応できる工夫を行う ・ICT化など将来的な学習環境の変化や子どもたちの活動に合わせた多目的に利用できる教室を整備する
	機能	<ul style="list-style-type: none"> ・小中一体となることに配慮し、成長段階に応じた学年のまとまりと学習環境を整備する ・地域開放エリア・放課後活動エリア・総合体育場機能など、それぞれの運用に配慮し、学校エリアの安全安心な防犯・セキュリティを確保する ・子どもスキップや中学生の放課後の居場所に配慮した場所を設け、保護者も安心できる場所とする ・施設の高層化が想定されるため、動線など児童生徒が快適に生活できるように配慮する

教室等	普通教室	<ul style="list-style-type: none"> ・ 共用部を含めた空間の自由度を高めた環境とし、様々な単位で学習が展開できるフレキシビリティに配慮したつくりとする ・ GIGAスクール構想やオンライン教育等の教育環境の変化に柔軟に対応できるよう整備する ・ 十分な広さの教室とし、豊富な収納と展示・掲示スペースを確保する ・ クールダウンをはかるスペースを設ける
	特別支援教室	<ul style="list-style-type: none"> ・ 温かみのある落ち着いた環境とし、普通教室と一体でインクルーシブな環境で生活できるようにする ・ 十分な広さを設けると同時に、個々の発達差に考慮して仕切りを行うことができるようにする ・ 共用部を含めた空間の自由度を高めた環境とし、様々な単位で学習が展開できるフレキシビリティに配慮したつくりとする ・ クールダウンをはかるスペースを設ける
	特別教室等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小中で共用できる諸室は共同利用するなど、効率的に利用できるよう工夫する ・ 地域のイベントや学校行事等の練習ができる場所としての機能を確保する ・ 豊富な収納と展示・掲示スペースを確保する ・ 火気使用可能な特別教室は災害時の使用を想定した整備を行う ・ 子どもスキップは、十分なスペースを確保する。
	学校図書館・多目的室	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校図書館は学びの中心となるように、小中が一体で使えるよう配置すると共に、日常的に使いやすい動線を確保する ・ 十分な蔵書と閲覧スペースを確保し、本に囲まれくつろげる場所とする ・ 子どもたちの自習やグループ学習など、多様な活動に応じた場所を設ける
諸室・共用部	管理諸室	<p><職員室></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小中・特別支援学級の教職員が一同に集まることができる広さと座席数を確保した職員室とする ・ 児童生徒と教職員のコミュニケーションが促進されるような工夫を行う ・ 巣鴨小の教職員をはじめ他校の教職員が来校し連携することを想定した打合せスペースなどを設ける <p><会議室など></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 複数の小会議室を設け、個人面談や相談室、リモート会議の場所として使えるような個室機能を確保する ・ 教材作成、会議、打ち合わせ、情報交換、リフレッシュ、更衣、休憩、資料保管など、それぞれの活動・目的に相応しい環境をつくる
	トイレ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 明るく綺麗で、プライバシーに配慮した使い心地のよいトイレを整備する ・ 十分な広さを確保するとともに、オストメイトやおむつ台などインクルーシブに配慮した多目的トイレを整備する

	廊下・階段	<ul style="list-style-type: none"> ・安全で見通しのよい広さを確保する ・子どもたちの作品を展示するスペースや活動するスペースを確保する ・ベンチやソファなどを設け、休み時間などでおしゃべりやくつろいだりできる居場所を設ける
体育施設等	体育館 武道場	<ul style="list-style-type: none"> ・学校生活、学校行事、避難機能など様々な観点を考慮し、十分な広さを確保する ・四季を通じて快適に利用できる設備性能を備える ・イベントや行事等で使用することを考慮し、十分な防音性を確保する ・救援センターとしての活用を想定した整備を行う ・大人数での利用を想定した出入口を計画する ・地域開放を考慮した動線計画をし、地域開放用の器具庫を設けるなどの整備をする
	プール	<ul style="list-style-type: none"> ・プールは屋内プールとし、十分な広さを確保する ・水深調整機能を持たせたプールとし、小中共用とする ・通年利用を想定した整備を行う
屋外	校庭、その他	<ul style="list-style-type: none"> ・校庭は、イベントや授業運営における使い分けを考慮し、小中1面ずつ整備し、それぞれ十分な広さを確保する ・夏季の暑さに配慮した整備を行う ・運動会などの行事の際は、保護者や子どもたちの観覧スペースを工夫し、子どもたちの競技スペースを十分に確保する ・小中の校庭配置は、児童・生徒の体格差や異なる利用を想定し、安全性を考慮した整備を行う ・教室などから直接利用できるテラスやバルコニーを用意し、室内と連携して安全に利用できる環境を整備する ・ビオトープや池、飼育小屋など自然や生き物に触れ合える環境を屋上利用含めて計画する ・畑（菜園・花壇）を整備し、食育につながる栽培活動が行えるようにする ・子どもたちの交流が促進され、リラックスできる屋外スペースを整備する ・体育館や校庭以外に子どもたちが運動できる場所を整備する ・地域開放を考慮した動線計画をし、地域開放用の器具庫を設けるなどの整備をする

【総合体育場部分】

全体	設え (しつらえ)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域特性に合わせた、豊島区のランドマークとなるような施設とする ・多世代の交流が生まれ、生涯スポーツの拠点となる施設とする
	機能	<ul style="list-style-type: none"> ・開放感を感じられる空間を整備する ・安全性を考慮した適切な広さを確保する ・近隣への影響を考慮した騒音対策等を実施する ・近隣や競技者に配慮した照明設備を整備する ・競技者のみならず、多様な見学者等を考慮した安全な集いの施設とする ・十分な広さと使いやすい倉庫を設置する
競技室	庭球場	<ul style="list-style-type: none"> ・コートは4面確保する ・大会運営に必要なスペースを確保する
	体育室 (卓球場)	<ul style="list-style-type: none"> ・多目的な用途で使用することを考慮した設えを検討する ・卓球を同時に8面実施できる広さを確保する
	弓射場 (アーチェリー場)	<ul style="list-style-type: none"> ・競技者6人が同時に競技できる広さを確保する ・控えおよび待機室は適切な場所・角度で配置する ・階高は競技に適切な高さを確保する
	弓射場 (弓道場)	<ul style="list-style-type: none"> ・競技者6人が同時に競技できる広さを確保する ・巻き藁、作業スペース、講師控えを設ける
	野球場	<ul style="list-style-type: none"> ・現状と同規模の面積を確保する ・選手の待機・準備場所を確保する ・野球場側に車が進入可能な入口を設置する
総合体育場諸室	エントランス	<ul style="list-style-type: none"> ・椅子や机、自販機を設置し休憩スペースとしても活用する ・野球場から使いやすい位置に出入口を設ける
	管理諸室	<ul style="list-style-type: none"> ・受付は利用者動線等を考慮し、適切な位置に配置する ・管理者用の更衣室、休憩室、給湯室を確保する ・医務室を設置する ・建物内外から入れる作業スペースを確保する
	更衣室・シャワー室	<ul style="list-style-type: none"> ・各競技スペースから使いやすい配置とする ・利用人数に合わせた数を確保する ・清掃しやすく、清潔に保ちやすい仕様とする ・女性用パウダースペースを設ける
	トイレ	<ul style="list-style-type: none"> ・各階に配置し、きれいで居心地のよい場所とする ・だれでもトイレやベビーチェア・ベビーベッドを設ける
	授乳室	<ul style="list-style-type: none"> ・各競技スペースから使いやすい場所に確保する
	会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・多目的な使い方が可能なつくりとする
	駐車場・駐輪場	<ul style="list-style-type: none"> ・敷地を有効活用することを考慮し、適切な位置に配置する ・十分な台数を確保し、周辺の交通状況を考慮した整備を行う